

2013年9月27日

NPO 法人 ICT 救助隊

理事長 藤澤義之

〒142-0063 東京都品川区荏原 5-5-3-102

Tel 03-3727-0479

講座実施報告書

— NEC 難病コミュニケーション支援講座 佐賀会場 —

日時：2013年9月21日(土)、9月22日(日)

場所：佐賀県難病相談・支援センター(佐賀県佐賀市神野東2丁目6-10)

参加者数：16名

内訳：作業療法士3名、看護師3名、教諭2名、難病相談支援員4名、その他4名、

主催：佐賀県難病相談・支援センター

共催：NPO 法人 ICT 救助隊

協賛：NEC CSR・環境推進部社会貢献室

【カリキュラム】

1日目

10:30 開会にあたり

10:35 コミュニケーションについて (NPO 法人 ICT 救助隊 仁科恵美子)

文字盤の実習と携帯型会話補助機器体験

(レッツチャット、ペチャラ、トーキングエイド for iPad)

11:30 意思伝達装置「伝の心」について1 (NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

12:00 昼食

12:45 意思伝達装置「伝の心」について2 (NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

13:45 オペレートナビについて (NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

15:00 工作実習「オリジナル入力スイッチ製作」(NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

16:30 終了

2日目

10:15 スイッチの適合 (川村義肢 日向野和夫氏)

12:10 昼食

13:00 当事者とのコミュニケーション体験(日本 ALS 協会副会長岡部宏生氏)

視線入力体験

14:30 オリジナルスイッチで Hearty Ladder の操作 (NPO 法人 ICT 救助隊 仁科恵美子)

15:30 スイッチの適合 2 (川村義肢 日向野和夫氏)

16:00 終了

【写真】

1 日目

透明文字盤の実習



意思伝達装置「伝の心」について



HaertyLadder について



2 日目

スイッチの適合 (川村義肢 日向野和夫氏)

当事者とのコミュニケーション体験

(日本 ALS 協会副会長岡部宏生氏)



集合写真



【取材】

毎日新聞社

佐賀新聞社

西日本新聞社

【アンケート集約】

1. 受講しての感想、聞きたかったことなどお書きください。

透明文字盤、口文字

- ・ぜひ、生徒に使用してみます。
- ・透明文字盤はなかなか当たらず、イライラ、ちらちらしたことがありました。実際に使うとき練習があると思いました。特別な準備がいらないので簡単なコミュニケーションは、これがいいなと思われました。

口文字は岡部さんがゆっくり言ってくださったので分かりよかったです。

- ・透明文字盤の指導で「2 介助者 患者と自分の目が一直線に・・・」とあるのですが、「自分が相手から見つめられているような気がする場所まで」みたいな説明の方がじっくりいくような気がします。

携帯用会話補助装置

- ・伝の心、レッツチャットは助成金対象だと思いますが、iPadはどうでしょう？
- ・少々、お値段が・・・、まずはおもちゃの方でためしてみたいです。

伝の心

- ・伝の心、オペナビともにある程度の認知がないと使うのは難しいと思いましたが、おもしろさがわか

った人は使いたいだろうと思いました。

オペレートナビ

- ・やはり少々もどかしい気はしますが自分で操作できるのはよいですね。

HeartyLadder

- ・フリーのソフトでこういうものがあるとは知りませんでした。試してみたいと思います。
- ・練習してみます。

スイッチの適合

・効率的なフィッティングのことを考えていたのでとても参考になりました。よけいな力を使わないでスムーズに操作できるといいなと思います。家族の方でも他の人でも簡単に準備できるものでないと続かないと思いました。

スイッチ、インターフェイスの製作

- ・これを習いたくて実は参加を決めました。ぜひ、作ってみたいです。
- ・短時間でできてよかったです。
- ・スチロールカッターと発泡スチロールの組み合わせは自由な形が作れるという感じでいいですね。つまようじで固定するというアイデアはなかなかいいなと思いました。

2. その他ご意見やご感想、お気づきの点がありましたらお書きください。

色んな機器を方法を使ってコミュニケーションを取ることができるとわかりました。岡部さんと実際にコミュニケーションを取る事ができて嬉しかったです。

- ・実際に岡部さんと会話をすることができて、とても楽しかった。講義や説明をしていただいた方々の熱意がとても伝わってきました。お土産までいただいてありがとうございました。
- ・実際にコミュニケーションをしている場面の画像を見れたのがよかったです。
- ・実習(スイッチ作りなど)はとても嬉しかったです。丁寧な説明していただきありがとうございました。
- ・全てとても勉強になりました。ありがとうございました。

3. 次回コミュニケーション支援の講座を受けるとしたらどのような内容を希望されますか？

- ・小児(脳性マヒなど)専用の AAC があるのか知りたい。
- ・今回の練習から、もっとより実践を増やしていただきたいと希望します。

以上